

# 福昕PDF编辑器

· 永久 · 轻巧 · 自由

点击升级会员

点击批量购买



# 永久使用

无限制使用次数



# 极速轻巧

超低资源占用,告别卡顿慢



# 自由编辑

享受Word一样的编辑自由



🔲 扫一扫,关注公众号

# 租税条約に関する届出書

#### / 税務署整理欄 For official use only,

## APPLICATION FORM FOR INCOME TAX CONVENTION

務署受付税

使用料に対する所得税及び復興特別所得税の軽減・免除 Relief from Japanese Income Tax and Special Income Tax for Reconstruction on Royalties

この届出書の記載に当たっては、別紙の注意事項を参照してください。 See separate instructions.

との間の租税条約第12 条第2 項

, Article 12 , para. 2

適用;有、無 身元 確認 確認

限度税率 10.00 Applicable Tax Rate

免 税 (注11) Exemption(Note 11)

諏訪 税務署長殿 To the District Director, Suwa Tax Office

適用を受ける租税条約に関する事項;

Applicable Income Tax Convention 日本国と<u>中国</u>

The Income Tax Convention between Japan and China

使用料の支払を受ける者に関する事項;

Details of l	Recipient of Royalti		
氏 名	又 は Full name	名 称	Epson (China) Co., Ltd.
個 人 番 ( 有 す Indiv	号 又 は る 場 合 の idual Number or Corpo (Limited to case of a h		9 1 1 1 0 0 0 0 7 1 0 9 2 0 0 7 1 1
個人の場合	住 所 又 Domicile(	は 居 所 or residence	4th Floor, Tower 1 of China Central Place, 81 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100025 China (電話番号 Telephone Number)
Individual	国 Natio	籍 onality	China
法人その他の団体の場合		5事務所の所在地 flice or main office	4th Floor, Tower 1 of China Central Place, 81 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100025 China (電話番号 Telephone Number)
Corporation	設 立 又 は 組 Place where the established or or		Beijing ,China
or other entity	or other entity 事業が管理・支配されている場所 Place where the business is managed and controlled		4th Floor, Tower 1 of China Central place,81Jianguo Road, (電話番号 Telephone Number) Chaoyang District, Beijing 100025 China 86-10-8522-1199
	使用料につき居住者	者として課税される	(納税者番号 Taxpayer Identification Number)
国及び納税地(注8) Country where the recipient is taxable as resident on Royalties mentioned in 4 below and the place where he is to pay tax (Note 8)		axable as resident ow and the place	China (911100007109200711)
	久的施設の状況 stablishment in	名 称 Name	
Japan	Japan 所在地 Address		(電話番号 Telephone Number)
□有(Yes) , If "Yes",	☑無(No) explain:	事業の内容 Details of Business	3

使用料の支払者に関する事項;

Details of Payer of Royalties		
氏 名 又 は 名 Full name	ă 称	セイコーエプソン株式会社 Seiko Epson Corporation
住所(居所)又は本店(主たる事務所) Domicile (residence) or Place of head o office)		長野県諏訪市大和3-3-5 (電話番号 Telephone Number) 3-3-5 Owa, Suwa, Nagano 392-8502 Japan 0266-52-3131
個人番号又は法人 (有する場合のみ記 Individual Number or Corporate Number (Limited to case	番 号 入 ) of a holder)	4   0   1   1   1   0   1   0   1   0   8   4   1
日本国内にある事務所等	称 Name	セイコーエプソン株式会社 松本南事業所(事業の内容 Details of Business)Seiko Epson Corporation, Matsumoto Minami Plant情報関連機器 Information-related equipment
Office, etc. located in Japan 所	在 地 .ddress	長野県松本市寿小赤2070 2070 Kotobuki Koaka, Matsumoto-shi, Nagano-ken 399-8702 Japan 0263-86-5353

上記「3」の支払者から支払を受ける使用料で「1」の租税条約の規定の適用を受けるものに関する事項(注9); Details of Royalties received from the Payer to which the Convention mentioned in 1 above is applicable (Note 9)

使用料の内容 Description of Royalties	契約の締結年月日 Date of Contract	契約期間 Period of Contract	使用料の計算方法 Method of Computation for Royalties	使用料の支払期日 Due Date for Payment	使用料の金額 Amount of Royalties
漆付参照	添付参照	添付参照	添付参照	添付参照	添付参照
See attachment	See attachment	See attachment	See attachment	See attachment	See attachment

5	その他参考	レなス	べき車項	(注10)
O .	てい他多ち	C 14 W	1、2 事項	(住10)

Others (Note 10)

日本の税法上、届出書の「2」の外国法人が納税義務者とされるが、「1」の租税条約の相手国では、その外国法人の株主等が納税義務者とされて おり、かつ、租税条約の規定によりその株主等である者(相手国居住者に限ります。)の所得として取り扱われる部分に対して租税条約の適用を受 けることとされている場合の租税条約の適用を受ける割合に関する事項等(注4);

Details of proportion of income to which the convention mentioned in 1 above is applicable, if the foreign company mentioned in 2 above is taxable as a company under Japanese tax law, and the member of the company is treated as taxable person in the other contracting country of the convention; and if the convention is applicable to income that is treated as income of the member (limited to a resident of the other contracting country) of the foreign company in accordance with the provisions of the convention (Note 4)

届出書の「2」の欄に記載した外国法人が支払を受ける「4」の使用料については、「1」の租税条約の相手国において次の法令に基づいて、次 の日以後、その外国法人の株主等である者が課税されることとされています。

The member of the foreign company mentioned in 2 above is taxable in the other contracting country mentioned in 1 above regarding the royalties mentioned in 4 above since the following date under the following law of the other contracting country

効力を生じる日 根拠法令 Н Applicable law Effective date

届出書の「2」の外国法人の株主等で租税条約の適用を受ける者の氏名 又は名称 Name of member of the foreign company mentioned in 2 above, to whom the Convention is applicable	間接保有 Indirect Ownership	持分の割合 Ratio of Ownership	受益の割合= 租税条約の適用を受ける割合 Proportion of benefit = Proportion for Application
whom the Convention is applicable			of Convention
		%	%
		%	%
		%	%
		%	%
		%	%
合計 Total		%	%

日本の税法上、届出書の「2」の団体の構成員が納税義務者とされるが、「1」の租税条約の相手国ではその団体が納税義務者とされており、か つ、租税条約の規定によりその団体の所得として取り扱われるものに対して租税条約の適用を受けることとされている場合の記載事項等(注5) Details if, while the partner of the entity mentioned in 2 above is taxable under Japanese tax law, the entity is treated as taxable person in the other contracting country of the convention mentioned in 1 above, and if the convention is applicable to income that is treated as income of the entity in accordance with the provisions of the convention (Note 5)

届出書の「2」に記載した団体は、「4」の使用料につき、「1」の租税条約の相手国において次の法令に基づいて、次の日以後、法人として課 税されることとされています

The entity mentioned in 2 above is taxable as a corporation regarding the royalties mentioned in 4 above since the following date under the following law in the other contracting country of the convention mentioned in 1 above

根拠法令	効力を生じる日	年	月	E
Applicable law	Effective date			

他の全ての構成員から通知を受けこの届出書を提出する構成員の氏名又は名称

Full name of the partner of the entity who has been notified by all other partners and is to submit this form

この届出書の「4」に記載した使用料が「1」に掲げる租税条 約の規定の適用を受けるものであることを、「租税条約等の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律の施行に関する 省令」及び「復興特別所得税に関する省令」の規定により届け出るとと この届出書(及び付表)の記載事項が正確かつ完全であることを宣 う. 言します。

	年	月	日
Date			

使用料の支払を受ける者又はその代理人の署名 Signature of the Recipient of Royalties or his Agent

In accordance with the provisions of the Ministerial Ordinance for the Implementation of the Law concerning the Special Measures of the Income Tax Act, the Corporation Tax Act and the Local Tax Act for the Enforcement of Income Tax Conventions and the Ministerial Ordinance concerning Special Income Tax for Reconstruction, I hereby submit this application form under the belief that the provisions of the Income Tax Convention mentioned in 1 above is applicable to Royalties mentioned in 4 above and also hereby declare that the statement on this form (and attachment form) is correct and complete to the best of my knowledge and belief.

代理人に関する事項 ; この届出書を代理人によって提出する場合には、次の欄に記載してください。 Details of the Agent ; If this form is prepa<u>red and submitted by the Agent, fill out the following columns.</u>

	代理人の資格 Capacity of Agent in Japan	氏名 (名称) Full name		納税管理人の届出をした税務署名 Name of the Tax Office where the Tax Agent is registered
ı	■ 納税管理人 ※ Tax Agent ■ その他の代理人 Other Agent	住所(居所・所在地) Domicile(Residence or location)	(電話番号 Telephone Number)	税務署 Tax Office

「納税管理人」とは、日本国の国税に関する申告、申請、請求、届 出、納付等の事項を処理させるため、国税通則法の規定により選任 し、かつ、日本国における納税地の所轄税務署長に届出をした代理人 をいいます。

\* "Tax Agent" means a person who is appointed by the taxpayer and is registered at the District Director of Tax Office for the place where the taxpayer is to pay his tax, in order to have such agent take necessary procedures concerning the Japanese national taxes, such as filing a return, applications, claims, payment of taxes, etc., under the provisions of Act on General Rules for National Taxes.

適用を受ける租税条約が特典条項を有する租税条約である場合; If the applicable convention has article of limitation on benefits 特典条項に関する付表の添付 □有Yes

"Attachment Form for Limitation on Benefits Article" attached

□添付省略Attachment not required

(特典条項に関する付表を添付して提出した租税条約に関する届出書の提出日 Date of previous submission of the application for income tax convention with the "Attachment Form for Limitation on Benefits

年 月 日)
--------

# 「租税条約に関する届出書(使用料に対する所得税及び復興特別所得税の軽減・免除)」に関する注意事項

INSTRUCTIONS FOR "APPLICATION FORM FOR RELIEF FROM JAPANESE INCOME TAX AND SPECIAL INCOME TAX FOR RECONSTRUCTION ON ROYALTIES"

#### ─注 意 事 項─

## 届出書の提出について

- この届出書は、使用料に係る日本国の所得税及び復興特別所得税の 源泉徴収額について租税条約の規定に基づく軽減又は免除を受けよう とする場合に使用します。
- この届出書は、使用料の支払者ごとに作成してください。
- この届出書は、正副2通を作成して使用料の支払者に提出し、 料の支払者は、正本を、最初にその使用料の支払をする日の前日まで にその支払者の所轄税務署長に提出してください。この届出書の提出 後その記載事項に異動が生じた場合も同様です。
- 適用を受ける租税条約に両国間で課税上の取扱いが異なる事業体に

| 適用を受ける租税条約に両国間で課税上の取扱いが異なる事業体に関する規定がある場合には、次の点にご注意ください(5において同じです。)。
| 外国法人であって、相手国ではその株主等が納税義務者とされるものが支払を受ける所得については、相手国の居住者である株主等(その株主等の受益する部分に限ります。)についてのみその租税条約の規定の適用を受けることができます。上記に該当する外国法人は、次の書類を添付して提出してください。
(1) 届出書の「2」の欄に記載した外国法人が相手国においてその株主等が課税を受けていることを明らかにする書類
(2) 「外国法人の株主等の名簿(様式16)」
(3) その租税条約の適用を受けることができる株主等がその外国法人

- ) その租税条約の適用を受けることができる株主等がその外国法人の株主等であることを明らかにする書類 ) 相手国の権限ある当局の株主等である者の居住者証明書 なお、この場合には、「特典条項に関する付表(様式17)」(その添付

書類を含みます。)については、③の各株主等のものを添付してくださ

その租税条約の相手国の居住者に該当する団体であって、日本では その構成員が納税義務者とされる団体の構成員(その団体の居住地国 の居住者だけでなく、それ以外の国の居住者や日本の居住者も含みま す。以下同じです。)は、この届出書に次の書類を添付して提出してくだ

なお、その団体の構成員のうち特定の構成員が他の全ての構成員か ら「相手国団体の構成員の名簿(様式16)」に記載すべき事項について 通知を受けその事項を記載した「相手国団体の構成員の名簿(様式 16)」を提出した場合には、全ての構成員が届出書を提出しているも

- のとみなされます。
  ① 届出書の「2」の欄に記載した団体が居住地国において法人として課税を受けていることを明らかにする書類
  ② 「相手国団体の構成員の名簿(様式16)」
- 「相手国団体の構成員の名簿(様式16)」に記載された構成員が届

出書の「2」の団体の構成員であることを明らかにする書類

④ 相手国の権限ある当局の団体の居住者証明書なお、この場合には、「特典条項に関する付表(様式17)」(その添付書類も含みます。)は、届出書の「2」の欄に記載した団体のものを添 付してください。

この届出書を納税管理人以外の代理人によって提出する場合には、 その委任関係を証する委任状をその翻訳文とともに添付してくださ

#### 届出書の記載について

- 届出書の□欄には、該当する項目について✔印を付してください。
- 納税者番号とは、租税の申告、納付その他の手続を行うために用い る番号、記号その他の符号でその手続をすべき者を特定することができるものをいいます。支払を受ける者の居住地である国に納税者番号に関する制度が存在しない場合や支払を受ける者が納税者番号を有しない場合には納税者番号を記載する必要はありません。
- 届出書の「4」の各欄には、使用料の支払を受ける者が日本国内に

・ 周田書の 14」の各欄には、使用料の支払を受ける者が日本国内に 支店等の恒久的施設を有する場合は、その恒久的施設に帰せられない 使用料について記載してください。 工業所有権、著作権等の譲渡収益で租税条約において使用料に準じ て取り扱われるものについては、その譲渡収益の内容、譲渡価額の計 算方法、支払期日、支払金額等を、それぞれ使用料の場合に準じて記 載してください。

### -INSTRUCTIONS-

Submission of the FORM

- This form is to be used by the Recipient of Royalties in claiming the relief from Japanese Income Tax and Special Income Tax for Reconstruction under the provisions of the Income Tax Convention.
- This form must be prepared separately for each Payer of Royalties.
- This form must be submitted in duplicate to the Payer of Royalties, who has to file the original with the District Director of Tax Office for the place where the Payer resides, by the day before the payment of the Royalties is made. The same procedures must be followed when there is any change in the statements on this form.
- In the case where there exists an applicable convention between both countries with provisions for an entity that is treated differently for tax purposes, the next point should be noted. (same as for column 5)

In case of income that is received by a foreign company whose member is treated as taxable person in the Contracting State other than Japan the Income Tax Convention is applicable only to members that are residents of the Contracting State (to the extent that the income is a benefit of the members). Such foreign company should attach the following documents to this form:

- ① Documents showing that the member of the foreign company mentioned in 2 is treated as taxable person in the Contracting State.

  "List of the Members of Foreign Company (Form 16)"
- 3 Documents showing that the member to whom the Income Tax Convention is applicable is a member of the foreign company.
- 4 The residency certification for shareholders of competent authority in the other country.
- Also attach "Attachment Form for Limitation on Benefits Article (Form 17)" (including attachment) completed for each of the members described in ③.
- A Partner of an entity that is a resident of the Contracting State other than Japan under the Income Tax Convention (including a partner that is resident of Japan or any other country, in addition to the country of which the entity is a resident; the same applies below) and whose partners are taxable persons in Japan must submit this form attached with the following documents.

If a specific partner of the entity is notified of required information to enter in "List of the Partners of Entity (Form 16)" by all of the other partners and submits "List of the Partners of Entity (Form 16)" filled with the notified information, all of the partners are deemed to submit the application form.

① Documents showing that the entity mentioned in 2 is taxable

as a corporation in its residence country.

②"List of the Partners of Entity (Form 16)"

- ③ Documents showing that the partners mentioned in "List of the Partners of Entity (Form 16)" are partners of the entity mentioned in 2
- 4 The residency certification for entity of competent authority
- in the other country. In this case, attach "Attachment Form for Limitation on Benefits Article (Form 17)" (including attachment) for the entity mentioned in 2.
- 6 An Agent other than the Tax Agent must attach a power of attorney together with its Japanese translation.

## Completion of the FORM

- Applicable boxes must be checked.
- The Taxpayer Identification Number is a number, code or symbol which is used for filing of return and payment of due amount and other procedures regarding tax, and which identifies a person who must take such procedures. If a system of Taxpayer Identification Number does not exist in the country where the recipient resides, or if the recipient of the payment does not have a Taxpayer Identification Number, it is not necessary to enter the Taxpayer Identification Number .
- 9 Enter into column 4 the Royalties which are not attributed to a permanent establishment in Japan of the Recipient (such Royalties as not accounted for in the books of the permanent establishment).

As to be proceeds from alienation of patent, copyright, etc., to which the same treatment with royalties is applicable under the provisions of the Convention, enter into column 4 the description such as the content of the contract, method of computation for the amount of payment, due date for payment and the amount of the proceeds.

10 届出書の「5」の欄には、「2」から「4」までの各欄に記載した 事項のほか、租税の軽減又は免除を定める「1」の租税条約の適用を受 けるための要件を満たす事情の詳細を記載してください。

なお、使用料の支払を受ける者が、日仏租税条約1995年議定書3 (b) (i)の規定に規定する組合又はその他の団体である場合には、その 旨(組合その他の団体の種類、設立根拠法を記載してください。)、 支払を受ける総額、フランスの居住者たる組合員又は構成員の持ち分 の割合を記載し(組合員又は構成員全体の持ち分の明細を添付してく

ださい。)、また、フランスにおいて法人課税を選択している場合には、その選択している旨を記載してください。

11 租税条約に定める「1」の規定の適用を受けることにより免税とな る場合には、使用料の支払の基因となった契約の内容を記載した書類 (届出書「4」の記載事項などについて、契約の内容が判るもの)及 び権限ある当局の発行した居住者証明書を添付してください。この場 合において、届出書の「4」の記載事項については、記載を省略しても 差し支えありません。 (平成16年4月1日以後適用開始となる租税条約の適用を受ける場合に限ります。)

なお、使用料の支払者に居住者証明書(提示の目前一年以内に作成 されたものに限ります。)を提示し、届出書の「2」の欄に記載した 事項について使用料の支払者の確認を受けたとき(届出書にその確認 をした旨の記載がある場合に限ります。)は、居住者証明書の添付を

省略することができます。 この場合、上記の確認をした使用料の支払者は、届出書の「5」の 欄に①確認をした旨(例:届出者から提示のあった居住者証明書により、届出書に記載された氏名又は名称その他の事項について確認しました。)、②確認者の氏名(所属)、③居住者証明書の提示を受けた日及び④居住者証明書の作成年月日をそれぞれ記載するとともに、提出を日本のでのように、提供した。 示を受けた居住者証明書の写しを作成し、提示を受けた日から5年間 その国内にある事務所等に保存する必要があります。

10 Enter into line 5 details of circumstance that the conditions for the application of the convention mentioned in 1 are satisfied, in addition to information entered in 2 thought 4.

If the Recipient of Royalities is the partnership or other group of persons in the sense of the Article 3 (b) (i) of Protocol, 1995, of the Convention between Japan and the French Republic, enter into this column to that effect (kind of partnership or other group of persons, and the basis law for the establishment), total amount of Royalties, and the ratio of an interest of the French resident partners to that of all partners, together with the full details of interests of all partners. If the said partnership or other group of persons elects to be liable to the corporation tax in France, enter into this column to that effect.

If royalty will be exempted from tax by the application of the convention mentioned in 1 above, document which describes the content of the agreement underlying the royalty payment (document clarifying the content of the agreement regarding items in column 4) and the residency certification issued by the competent authority must be attached. In this case, it is not required to enter items of column 4 (only for the application of conventions that entered into effect on or after April 1, 2004).

In the case that the recipient of the royalties shows his residency certification (certification must have been issued within one year prior to the showing) to the payer of the royalties, and the payer confirms items entered in column 2 (only in the case that the payer writes the fact of confirmation in the Application Form), attachment of the residency certification is not required.

In this case, the payer of the royalties who confirms the above-mentioned items is required to enter:  $\widehat{\mathbb{U}}$  the fact of confirmation (e.g., 'I, the payer described in column 3, have confirmed the name of the recipient and other items entered in column 2 having been shown residency certification by the recipient.'); ② the name and affiliation of the individual who is making the confirmation; ③ the date that the certification is shown; and 4 the date of issue of the residency certification. The payer is also required to make a copy of the residency certification and keep the copy in his office, etc. located in Japan for five years from the date that the certification is shown.

この届出書に記載された事項その他租税条約の規定の適用の有無を判 定するために必要な事項については、別に説明資料を求めることがあり

If necessary, the applicant may be requested to furnish further information in order to decide whether relief under the Convention should be granted or not.